

B' 210mm



1 バス停「フィオーレガーデン前」側から見る家の外観(裏側)は住民にとってもおなじみ
 2 カギ型の家の真ん中にあるリビング。日当たりと風通しが抜群
 3 暗くなると、特注ドアにはめ込まれたベネチアンガラスから玄関の灯りが漏れる

Toshihiko Yuasa Vol.45

3丁目 湯浅俊彦

家族と家と

text_Chiaki Okawara



「外壁は一切混じりけなしのパウダーホワイト。サックブルーの屋根に対して間にある破風の色をグレイにすることで、二重でまっすぐにすることでデザインが引き締まる。それと、サッシと屋根の高さをびったり揃えて全体的にぼけな印象にしました」
 細部に渡りこだわりを發揮したのは湯浅俊彦さん。ものづくりに関わるお仕事柄、随所まで細かく指示した。そのレベルたるや担当の設計士が施工後、燃え尽き症候群になったほど(笑)。

「長男は将来的に敷地内に家を建てるかもしれないし、末娘家族は同居が決まった。そうすると今の家ではその暮らしが難しい」
 そこで新しい家を建てる決心をし、フィオーレ内に土地を求めた。
 「うちの奥さんが根付いているから、ここ以外に暮らす

「子供も多かったです」
 子供もたちを取り巻く環境が決め手となり、思惑通り三人の子どもたちは片道17kmかかる高校まで自転車で通うほどたくましく育つ。その後それぞれが結婚、孫が誕生。
 「いつか自分が亡くなったその後もこの家に家族は住み続ける。そこまで考えて家族にとって居心地のいい場所を作らなきゃって、それだけ」
 住まいを考えることは、家族を考えることである。住まいをどうにかしなくてはと考えるあなたは、家族のことを案ずるあなたでもある。

現代建築家 清家清

MY HOME , MY LIFE

マイホーム、マイライフ

“温泉付林間住宅地”

そう銘打って世に出たフィオーレには、強いこだわりを持って建てられた家々が並ぶ。「あの家はとっても素敵ですよ」
 そんなまちの声に誘われて、4軒のお宅を訪問した。



CASE 3

外川さん | 3丁目 | 築21年

職場の後輩がフィオーレに建てたのをきっかけに購入。同僚が集まったり、セカンドハウスとして利用しています。誰かが天窓を閉じ忘れ、リビングの真ん中に雪が積もっていたことがありました(笑)

CASE 2

佐藤さん | 4丁目 | 築23年

フィオーレを見に来た時が新緑の季節で、雲雀のさえずりが聞こえて気持ち良かった事を覚えています。セルフで掘って作った庭と高低差を活かしたデッキ、ブラックの外観がお気に入りです。

CASE 1

松江さん | 5丁目 | 築20年

建築関係の仕事で培った知識やコネを使って、素材や建築工法など細部にこだわって建てました。古代ヒノキを使ったお風呂、大谷石の囲炉裏…大工さんは逃げ出したかったんだとが(笑)